

会 議 録

作成：吉川市教育委員会教育部
教育総務課学校給食センター

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回吉川市立学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	令和2年2月10日(月)	19時00分から20時00分まで
開 催 場 所	吉川市学校給食センター多目的会議室	
出席委員氏名	(学 校 長) 東中学校長 前田稔 (P T A会長) 美南小学校P T A会長 滝吉大助 南中学校P T A会長 石井千夏 (市議会議員) 文教福祉常任委員 雪田きよみ (学識経験者) 学校医 秋本憲一 流通経済大学准教授 坂野喜隆	
欠席委員氏名	(学 校 長) 三輪野江小学校 城崎克恵 (P T A会長) 三輪野江小学校P T A会長 岡田早代子	
事務局・担当課 職 員 氏 名	教育部長 中村詠子、教育総務課長 染谷憲市、 給食センター 所長 森保美、栄養士 山菅総子、主事 蔭山彩佳	
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 中村部長 4 委員紹介・職員紹介 5 議 題 (1) 令和元年度学校給食実施報告 (2) 令和2年度学校給食計画 (3) 給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について (4) その他 6 閉会	
会 議 の 公 開 又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開	
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度吉川市立学校給食センター運営委員会名簿 ・ 令和元年度学校給食実施報告 資料1 ・ 食物アレルギー対応食の実施状況 資料2 ・ 令和元年度学校給食アンケート集計結果 資料3 ・ 学校給食センター施設見学・試食会の受入状況 資料4 ・ 令和2年度学校給食計画 資料5 ・ 給食食材放射性物質の分析結果等及び今後の対応について 資料6 	
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名委員	雪田きよみ、坂野喜隆	
その他の事項		

議 事	
染 谷 課 長	<p>ただ今より、令和元年度第2回吉川市立学校給食センター運営委員会を開会させていただきます。本運営委員会は吉川市情報公開条例第26条の規定により「公開」としております。また、会議録は録音機を使用した要点記録とし発言者は記名とするのでご了承ください。なお、小学校長代表の城崎委員と小学校PTA会長代表の岡田委員からは欠席、秋本委員からは遅れてくることのご連絡を受けておりますので報告いたします。</p> <p>(委嘱書交付)</p> <p>令和元年7月24日の第1回当委員会にご出席の方は、その時にお渡ししておりますが、今回の市議会議員選挙後にあらためて議会から推薦がありました、雪田委員におかれましては、本日お手元にお配りさせていただいております。なお、任期につきましては他の方と同様、令和2年3月31日までとなっています。</p> <p>(教育部長あいさつ)</p> <p>(委員紹介・職員紹介)</p> <p>(資料確認)</p> <p>議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。正・副会長につきましては、令和元年7月24日に開催された第1回当委員会で決定しました、会長は中学校長代表の前田委員、副会長は美南小学校PTA会長の滝吉委員にお願いいたします。議事進行につきましては、規則第5条第2項に基づき、議事進行を前田会長にお願いいたします。</p>
前 田 会 長	<p>令和元年7月開催の当会議で会長を引き受けることとなりました、東中学校の前田です。前回に引き続き委員のみなさまのご協力をお願いいたします。</p> <p>これより議事を進行します。まず、定数を確認します。「吉川市立学校給食センター運営委員会」規則第7条第3項により、「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」となっております。当運営委員会の定数は8人で、本日はそのうちの5名、1人は後ほど来られるため過半数の5名を超えており、会議が成立していることを報告します。</p> <p>次に「学校給食センター運営委員会規則」第9条第3項で会議録著名委員2名を会長が指名することになっておりますので、私のほうで指名させていただきます。名簿順で雪田委員、坂野委員をお願いいたします。</p> <p>では、議題に入ります。今回、教育委員会から提出された諮問事項はありません。議題1の「令和元年度学校給食実施報告」について事務局より説明をお願いいたします。</p>
山 菅 栄 養 士 蔭 山 主 事	<p>(資料について説明)</p>

前 田 会 長	<p>ただいま、事務局から議題1について説明がございましたが、ご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
坂 野 委 員	<p>資料1について、給食だよりは「吉川市産」の言葉が入っており、吉川市では地産地消に取り組んでいることがわかり、とても良いことだと思いました。</p> <p>資料2について、アレルギー対応食の人数が年々増加しているように思いますが、増加している理由は子どもたちの体質の変化、あるいは子どもの総数の増加が関係しているのでしょうか。</p>
山 菅 栄 養 士	<p>様々な研究結果がありますので一概には言えませんが、近年は食べる食材の種類が増えてきているため新たにアレルギーが見つかること、また子どもたちの総数が増えてきていること両方が考えられると思います。</p>
秋 本 委 員	<p>現在はアレルギー検査が様々な手順で行われるようになり、保護者の意識が高まったことで一時期アレルギー対応を求める子どもの数が増加したが、最近では医師の診断書の提出が必要になったことから、一時期に比べて人数は減少傾向にあります。全体的に食生活の多様化、欧米化により乳アレルギーなど多少増えてきていますが、好き嫌いなどによる不要な申告は減ってきています。</p>
前 田 会 長	<p>秋本委員から医師の立場からご意見をいただきました。</p>
雪 田 委 員	<p>資料3について、中学2年生の給食に対する満足度が低いように思われますが、なぜこのような結果になっているか詳しい情報がありましたら教えてください。また、量に対す評価で「多い」「少ない」と回答する人数が約半分であり、現在は給食の残菜率を減らすことが課題であると思いますが、この結果からどのような対策が考えられますでしょうか。</p>
森 所 長	<p>中学2年生の満足度が低いことについて、給食の時間が短いというお話も聞いておりますので、そのことが関係しているのではないかと思います。</p> <p>残菜について、今年度は昨年度のこの時期に比べ低い結果が出ております。学校では、話をしないで食べることに集中する時間を設けていただくことや、盛り付けの際に量を調節し食べられる子がおかわりをするなど取り組んでくださっている学校もあるようです。</p>
石 井 委 員	<p>「コロコロきゅうり」は人気なメニューであるため、提供回数を増やして下さっているというお話を聞いたことがあります。苦手な献立にもこのメニューが入っているので、献立を考えることは大変だと感じました。</p> <p>また、意見・感想に「ご飯がべちゃべちゃしている」という意見がありますが、何か対策はあるのでしょうか。</p>

山 菅 栄 養 士	<p>ご飯などの主食は炊飯委託業者に依頼しており、出来上がったものが直接学校に配送されています。炊飯後、保温性のある容器に熱いご飯を入れるため、蒸気がこもり一部水分が多いところがあります。以前から炊飯委託業者に報告をしていますが、給食センターでも引き続き何か良い案はないか検討していきます。</p>
前 田 会 長	<p>補足になりますが、実際に飯缶を開けた際に水分が多い部分と、ふっくら炊けている部分があるように感じます。ですが、気の利いた生徒が配膳する際は混ぜて盛付けるため気にならず、そうでない生徒がよそった際に水分の多い部分だけが配膳されてしまったと思います。</p>
坂 野 委 員	<p>資料3について、評価の観点から経年比較ができた方がよいと思いますので、次回からは昨年の結果を載せていただきたいです。</p>
森 所 長	<p>次回からはそのように準備いたします。</p>
前 田 会 長	<p>資料3の量について「多い」と思っている児童・生徒がいることがあまりよくないように思います。児童・生徒の中には強制的に食べなければならない雰囲気があり、「多い」と思っているのであれば考え方を改めていかなければならないと思いました。このことについて、給食センターに要望や苦情などの問合せはありますでしょうか。</p>
森 所 長	<p>そのような問合せはありません。</p>
前 田 会 長	<p>私が知る限り中学校の教諭はそれほど全部食べることにこだわっていないように思いますが、小学校では昔ながらの考えで全部食べることが根づいているのではないかと思います。多ければ残せばよく、文句はないと思いますが、「多い」という回答がありましたので強制的な雰囲気があれば変えていかなければならないと思います。</p>
石 井 委 員	<p>時間が短く、その時間で食べ切るには多いと感じているのではないのでしょうか。</p>
前 田 会 長	<p>前回は時間について話題になりましたが、学校に戻り確認したところ、中学校では通常通りに準備ができて喫食時間が20分、準備に時間がかかった場合は15分ほどでした。中学生であればあの量を20分間で食べることは、それほど時間がないとは思いませんので、時間がないというよりは多いと感じているのではないかと思います。中学校でも極力時間をとるように声がけをしていますが、小学校のように配膳の段階で量を調節するなどの対策が必要ではないかと思います。</p>

坂野委員	埼玉県のある地域では給食は黙って食べるか、あるいはある程度会話をしながら食べるかでは満足度に差があるという結果が出ているようですが、吉川市や前田会長の学校ではどのような状況でしょうか。
前田会長	給食指導を見ていると「黙って食べなさい」という指導をしているクラスはなく、それなりの雰囲気では会話をしながら食べています。
石井委員	資料4について、以前PTAで見学・試食会を行った際に、食育指導の時間を作るように言われたように思いますが、見学・試食会にこられた一般の方々にも食育指導は行われているのでしょうか。
山菅栄養士	一般の方々もPTAの方々とは内容が異なりますが、食育SATシステムを使用して食育指導をさせていただいております。PTAの方々には、日ごろお子さんが学んでいることに近い内容を栄養教諭や学校栄養技師が考案して食育指導の時間を設けさせていただいております。
坂野委員	資料4について、見学・視察が増えると業務も増えると思いますが、吉川市では見学・視察が増えた方がよいのか、あまりそのようなことは考えていないのか教えてください。
森所長	こちらの施設は食育の拠点として造られているため、なるべく多くの方々に知ってもらいたいと考えております。
前田会長	議題2「令和2年度学校給食計画」について、事務局よりご説明をお願いします。
蔭山主事	(資料について説明)
雪田委員	資料5について、来年度の小学1年生の補食期間が2日間ということを知り、率直にゆとりがないなという印象を受けましたが、この期間は学校のカリキュラムに合わせて決められたのでしょうか。
森所長	このスケジュールは学校教育課と調整し決めています。
雪田委員	学校のカリキュラムに合わせて決められたということでしょうか。
森所長	新入生であってもそれまでに保育園や幼稚園で給食を食べる機会があったものと考え、学校教育課と調整し決めています。

前 田 会 長	<p>校長会の会議の中で現場の意見として、時間の確保など2日間でも大丈夫であるということから、学校教育課と給食センターで検討されこのスケジュールとなりました。</p> <p>それでは、議題3「給食食材放射性物質の分析結果及び今後の対応について」事務局よりご説明をお願いします。</p>
森 所 長	(資料について説明)
雪 田 委 員	放射能検査の費用は東京電力が全て負担していると聞いていましたが、いかがでしょうか。
森 所 長	現在は市で負担しております。
中 村 部 長	当初、東京電力は平成23年度のみ負担という話であったため、吉川市では平成24年度からは市費で臨時職員を雇用しています。
雪 田 委 員	<p>学校給食の放射能に関係するホームページへのアクセス数が少なくなってきたなど、当初に比べて不安感は落ち着いてきていると感じますが、最近汚染残土を農地にすき込んで使用するという話もあるので、検査の頻度を減らしてしまってもよいのでしょうか。また、吉川市の優れているところは、保育所に食材を回収に行き検査を行ってくださることだと思いますので、どうかこの制度を残していただけないでしょうか。</p>
森 所 長	<p>県内の検査状況を調べたところ、毎日全食検査を行っている市町村は極めて少なく、多いのは月に1回でした。中には令和元年度から検査を行っていない市町村もあり、特に市民の方々から「検査を再開してほしい」などといった問い合わせもないとのことですので、吉川市では検査を継続してまいりますが、件数を減らすことを考えています。</p>
雪 田 委 員	せめて保育所の給食を保育所の職員が持ってこなくても検査をしてもらえる仕組みだけは残していただけないでしょうか。

中 村 部 長	この件について、保育幼稚園課から保育所にお話をさせていただき、ご納得をいただいております。放射能検査は、臨時職員の雇用で年間300万円ほどかかっており、保育所の食材を回収に行くことに一番時間を使っています。そのことを保育所にお話ししたところ反対の意見はなかったと聞いています。また、吉川市では今まで口にすることを毎日検査してまいりましたが、一度も基準値を超えることはありませんでしたので、このまま毎日検査を続けていくことに疑問を感じております。先ほど汚染残土を農地に使用するというお話がありました。仮にそのようなことがあった場合や、放射性物質について不安な情報などがあった場合は再度検査方法について検討していきたいと思っております。
坂 野 委 員	今後の検査回数の案をいただいておりますが、食の安全・安心という観点から当面は週1回の検査をお願いしたいです。
染 谷 課 長	いただいた意見を前向きに検討させていただきます。
前 田 会 長	<p>前回の会議で PTA 会長からまだ放射能検査を行っていることで逆に不安をおおるというお話もありましたので、そのことも踏まえ検討していただきたいです。</p> <p>以上、予定している議事を全て終了しました。議長役を終了し事務局にお返しします。</p>
染 谷 課 長	前田会長ありがとうございました。以上で予定されている議題については全て終了いたしました。なお、本日の議事録につきましては、著名委員に確認後、皆様に送付させていただきます。これをもちまして令和元年度第2回吉川市立学校給食センター運営委員会を閉会いたします。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年10月7日

会 長 前 田 稔

署名委員 雪 田 きよみ

署名委員 坂 野 喜 隆